弊社サービスにおける青少年保護の取組

令和7年4月9日

第4回 インターネットの利用を巡る青少年の保護の在り方に関するWG

LINEヤフー

© LY Corporation

LINEヤフー株式会社について

Zホールディングス㈱、LINE㈱、ヤフー㈱、Z Entertainment㈱およびZデータ㈱は、グループ内再編に関する手続きを予定通り完了
2023年10月1日より、「LINEヤフー㈱（英文名：LY Corporation）」として新たに業務を開始

会社概要

会社名	LINEヤフー株式会社
代表者名 （24年6月18日 株主総会後）	代表取締役会長　川邊　健太郎 代表取締役社長 CEO　出澤　剛
主な事業内容	インターネット広告事業、イーコマース事業及び会員サービス事業などの展開並びにグループ会社の経営管理業務など
本社所在地	〒102-8282　東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー

設立年月日	1996年1月31日
決算	3月末日
単元株数	100株
公開日	1997年11月4日　店頭市場
資本金	248,144（百万円）（2024年3月末時点）
連結子会社数	107社（2024年12月末時点）
持分法適用関連会社数	38社（2024年12月末時点）

LINEヤフー

【LINEヤフーのロゴについて】LINEとYahoo! JAPANに共通する重要な価値「ユーザーフレンドリー」「イノベーション」「テクノロジー」をキーワードとして、LINEとYahoo! JAPANの結束によるさらなる革新の創出を表現しました。

サービス

コミュニケーションアプリ「LINE」や総合インターネットサービス「Yahoo! JAPAN」を始めとした、さまざまなサービスを展開

コミュニケーションアプリ
LINE

友だちや家族と、1対1やグループでのトーク、音声通話・ビデオ通話を、国内・海外・通信キャリアを問わず、いつでも、どこでも無料で楽しめます。さまざまな人や情報、サービス、企業・ブランドと、シームレスに繋がることが可能です。

総合インターネットサービス
Yahoo! JAPAN

ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」をはじめ、検索、ニュース、天気、ショッピング、オークションなど、これまでさまざまなサービスをスマートフォン・パソコンなどのデバイス向けに提供しています。

LINEヤフー共通利用規約

LINEヤフー共通利用規約において、禁止行為を規定

15. 当社サービス利用にあたっての順守事項

当社サービスのご利用に際しては、以下に定める行為を禁止いたします。

(1) 法令、裁判所の判決、決定もしくは命令、または法令上拘束力のある行政措置に違反する行為

(2) 社会規範・公序良俗に反する行為や、当社もしくは第三者の著作権、商標権、特許権等の知的財産権、名誉権、プライバシー権、その他法令上もしくは契約上の権利を侵害し、または他人の迷惑となる行為

(3) 過度に暴力的な表現、露骨な性的表現、児童ポルノ・児童虐待に相当する表現、人種、国籍、信条、性別、社会的身分、門地等による差別につながる表現、自殺、自傷行為、薬物乱用を誘引または助長する表現、その他反社会的な内容を含み他人に不快感を与える表現を、投稿等する行為

(4) 他のお客様の使用するソフトウェア、ハードウェア等の機能を破壊したり、妨害したりするようなプログラム等の投稿等をする行為

(5) 当社のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為、BOT、チートツール、その他の技術的手段を利用して当社サービスを不正に操作する行為、当社サービスの不具合を意図的に利用する行為、同様の質問を必要以上に繰り返す等、当社に対し不当な問い合わせまたは要求をする行為、その他当社サービスの運営または他のお客様による当社サービスの利用を妨害し、これらに支障を与える行為

(6) 不当な目的または態様でのリバースエンジニアリング、逆アセンブルを行うこと、また、その他の方法でソースコードを解読すること

(7) 当社サービス、当社の配信する広告、または、当社のサイトもしくはアプリ上で提供されているサービスや広告を妨害する行為

(8) 個人情報、登録情報、利用履歴情報等の第三者に関する情報を不正に収集、蓄積したり、開示、提供したりする行為

(9) 同一または類似のメッセージを不特定多数のお客様に送信する行為（当社の認めたものを除きます。）、当社が提供するアプリケーション「LINE」等の当社サービスにおいて他のお客様を無差別に友だちまたはグループトークに追加する行為、その他当社がスパムと判断する行為

(10) 当社が定める方法以外の方法で、当社サービスまたはコンテンツの利用権を、現金、財物その他の経済上の利益と交換する行為

(11) 営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為や面識のない第三者との出会いや交際を目的とする行為（当社の認めたものを除きます。）、性行為やわいせつな行為を目的とする行為、他のお客様に対する嫌がらせや誹謗中傷を目的とする行為、宗教活動または宗教団体への勧誘行為、その他当社サービスが予定している利用目的と異なる目的で当社サービスを利用する行為

(12) 他のお客様のアカウントを使用して当社サービスを利用する行為

(13) 当社または第三者になりすます行為または意図的に虚偽の情報を流布させる行為

(14) 手段のいかんを問わず他人からアカウントやパスワードを入手したり、他人にアカウントやパスワードを開示したり提供したりする行為

(15) 反社会的勢力に直接・間接に利益を提供する行為その他の反社会的勢力に対する協力行為

(16) (1) から (15) までのいずれかに該当する行為を援助または助長する行為またはこれらを準備する行為

(17) 上記に定めるもののほか、当社が不適当と合理的に判断した行為

© LY Corporation

ガイドラインの開示

利用規約に規定する禁止事項を各サービスのガイドラインで分かりやすく解説

オープンチャット禁止規定

オープンチャットでは、安心・安全なコミュニケーション環境を維持するため、365日24時間体制で投稿内容のモニタリングを行っており、当社が定める禁止規定に違反した場合は、作成されたオープンチャットのトークルーム、投稿、ニックネーム、プロフィール画像、ルーム名、説明文、ルームメイン画像（以下、総称して「コンテンツ」といいます。）の削除、オープンチャットへの第三者による閲覧又はアクセスを制限する措置、トークルームにおける音声通話の強制終了、又は違反ユーザーのオープンチャット利用停止に加え、LINEアカウントの停止又は削除の措置を行う場合がございます。

また、ユーザーが投稿したコンテンツが当社により削除された場合（※1）、トークルームにおいて音声通話が強制終了された場合（※2）、オープンチャットの利用停止措置がとられた場合（※3）、又はLINEアカウントが停止若しくは削除された場合（※4）には、それらの措置の理由を投稿者に通知することといたします（通知機能の正式開始は2025年6月以降となる見込みです）。一方、通知を受けたユーザーは、それらの措置について異議申し立てを行うことができます。

禁止項目を規定

1. 個人情報の掲載
2. 誹謗中傷・過度な批判的表現
3. 差別的発言・ヘイトスピーチ
4. 知的財産権・プライバシー・肖像権等の権利侵害
5. 自殺・自傷、他人に対する危害等の予告等
6. 児童ポルノコンテンツの投稿または青少年を危険に晒す行為
7. わいせつ・暴力的など一般人が不快と感じる内容を投稿する行為
8. 出会いを目的とする行為
9. 法令違反又は法令違反につながるおそれのある行為
10. 明らかな偽誤情報の拡散・流布
11. なりすまし
12. サイバーセキュリティリスクの恐れがある行為
13. サービス運営の妨害（荒らし行為）
14. 商用宣伝を目的とする行為
15. その他当社が不適切とみなす行為

© LY Corporation

LINEの安心・安全への取組

幅広い年齢層で不特定多数のユーザーが交流できるサービスならではのリスクをカバーしています。

通報

全てのサービスに
通報機能を設置

モニタリング

24時間／365日
常時実施*

不適切な投稿の削除

AI等による自動削除
人の目視確認による削除

* 個人間のトークやグループトークなどは原則モニタリングできませんが、ユーザーによる通報を受けた場合にモニタリングを実施し、利用規約に基づき対応します。

© LY Corporation

LINEアプリの利用推奨年齢

LINE 公式ブログ

【重要】本ブログは［こちら］に移転しました

2019年10月24日

【保護者の皆様へ】 青少年保護のためLINEの利用推奨年齢を12歳以上に引き上げます

（2020年1月6日追記）本日リリースしたiOS版LINEのバージョン9.19.0にて、本変更が適用されました。

（2019年12月16日追記）実施時期は2020年1月以降に延期となりました。実施後、再度ご案内いたします。

© LY Corporation

LINEの年齢確認による機能制限

18歳未満、または年齢未確認の利用者はIDで検索されません。

18歳未満の利用者、年齢認証を行わない利用者のLINE IDの検索機能を制限しています。異性交際を目的としたID交換、友だちを探すためのインターネット掲示板やアプリなど、弊社が認めていない外部サービスが存在します。そのサービスの利用者は、LINE ID を自ら公開しています。

これに対するLINEヤフー株式会社の取り組みは以下の通りです。

- 利用規約に禁止事項として明記
- 公式ブログやウェブサイトでの注意喚起
- 18歳未満の利用者のID検索制限

年齢認証の方法

✓ 年齢認証は、各携帯電話会社の利用者登録情報をもとに行います。

✓ 18歳以上であることの確認が取れないと、ID検索利用が不可になります。

© LY Corporation

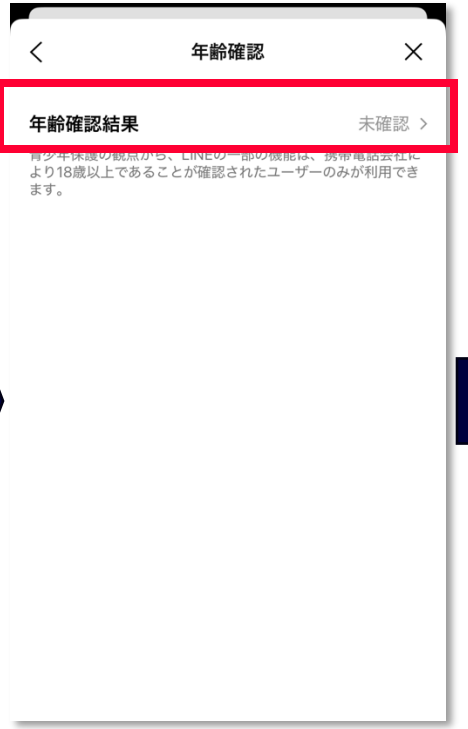
年齢確認の方法：NTT docomo利用者の例

① LINEを起動し
[ホーム]をタップ

② [設定]をタップ

③ [年齢確認]をタップ

④ [年齢確認結果]
をタップ



⑤ [NTT docomoを
ご契約の方]をタップ

⑥ dアカウントでログインし、
認証を行なってください。

- 年齢確認については、NTT docomo、au、 Softbank、Y!mobile、Rakutenモバイル
LINEモバイル、mineo、IIJmio、AEONモバイルが提供している利用者情報に対応

© LY Corporation

LINE：通報及びお問い合わせ窓口

通報機能の設置：迷惑な利用者の利用を制限する

LINEの友だちではない人からトークが送られてくると、注意書きとともに、「ブロック」「通報」のボタンが表示されます。身に覚えのない人からの迷惑なトークは、すぐにLINEヤフー株式会社に通報することができます。通報すると、当該ユーザーから受信した最新10件までのトーク内容と当該ユーザーの情報が送信され、不適切な利用者であると判断した場合、当該ユーザーはLINEの利用が制限されます。すでに友だち登録している人とのトークやグループトークの場合は、トーク画面の「設定」から「通報」を選ぶことができます。

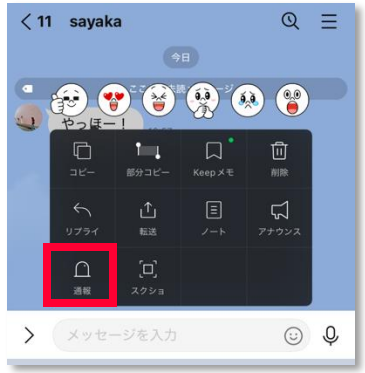
お問い合わせ窓口の設置

LINEについての疑問やトラブルは、お問い合わせフォームからご連絡することもできます。そのほかにもLINEサポートページをご用意しています。

© LY Corporation

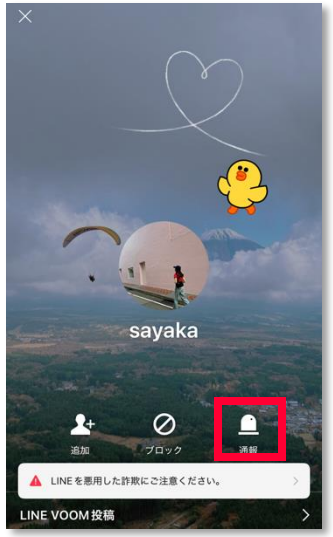
LINE：通報およびお問い合わせ窓口

通報（スマートフォンの画面の例）

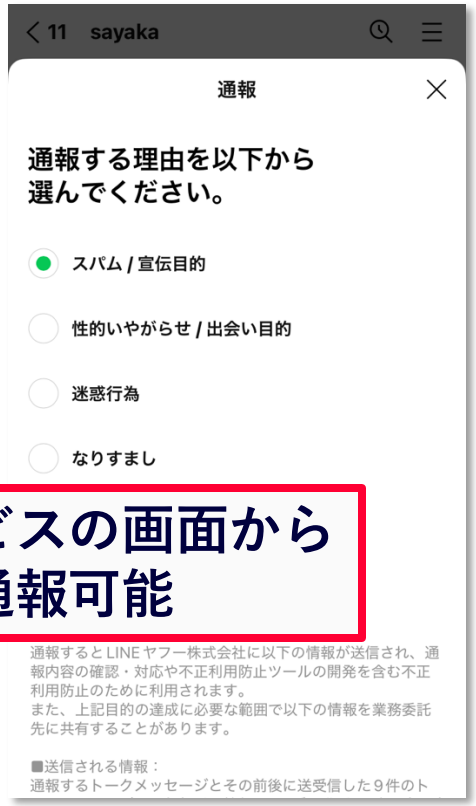


トーク内

友だち追加前



「知り合いも？」



各サービスの画面から通報可能

窓口（パソコンの画面の例）

投資詐欺

LINEを名乗るメール・トーク

嫌がらせ・迷惑行為

その他

詳細

嫌がらせ/権利侵害を受けた

なりすまし・覚えのない操作が行われた

違反報告

© LY Corporation

構成員限り

© LY Corporation

構成員限り

© LY Corporation

構成員限り

© LY Corporation

構成員限り

© LY Corporation

構成員限り

© LY Corporation

構成員限り

© LY Corporation

啓発活動

© LY Corporation

LINEみらい財団

①教材開発

GIGAスクール構想の中でより重要となっている「情報モラル」と「情報活用」の育成や向上を図るため、LINEみらい財団は国立大学法人静岡大学教育学部 准教授 塩田真吾氏と共同で活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」を開発しました。
これまでに「GIGAワークブック」は、汎用版、自治体オリジナル版をあわせて18都県+82市町村の教育機関で公式教材として採用されています。

②出前授業

全国の小中高で実施した情報モラル教育の出前授業は、旧LINE社時代から累計1万3千回以上実施しています。2020年以降はオンライン講演に切り替え、生徒向けだけでなく教員向け研修も強化しています。

③調査・研究

GIGAスクール構想の情報モラル教育や意識変化について調査し、教員や保護者への調査も行ってまいりました。
これにより、現場の状況を把握し、教材の効果を理解しております。

④教育機関との取組み

2017年に東京都教育委員会との協定を皮切りに、多くの自治体と連携しています。
また、文科省や総務省、消費者庁、警視庁などの各省庁でも、財団の取り組みや教材が紹介されています。

© LY Corporation

Yahoo!きっず

Yahoo!きっずとは

「未来を担う子どもたちにインターネットの楽しさを！」この思いから、1997年にYahoo!きっずが誕生しました。サービス開始以来、安心・安全なインターネット体験を通じて、子どもたちの世界がより広がるためのさまざまなコンテンツを提供し続けています。

Yahoo!きっずの特徴

安心安全な検索

Yahoo!きっずは、子どもたち自身が利用する上で安心安全であるためのガイドラインに準拠しています。検索結果が表示される際に事前にフィルタリングをかけ、子どもたちにとって不適切なページが表示されない仕組みを導入しています。さらに、検索結果から外部ページに移動する際にも、LINEヤフーの持つ独自技術と連携して子どもたちにとって不適切であると思われる情報が含まれていないかどうかを事前に確認し、より安全に使っていただける環境を目指しています。

情報技術の変化に対応

情報技術の発展に伴い、子どもたちのインターネットを利用する環境も変化しています。Yahoo!きっずでは利用シーンに合わせて、その時代に最適なデバイス対応や、環境の構築を推進しています。
子どもたちにとって有益で良質な情報を提供するための独自のコンテンツガイドラインを設け、サービスの運営をおこなっています。

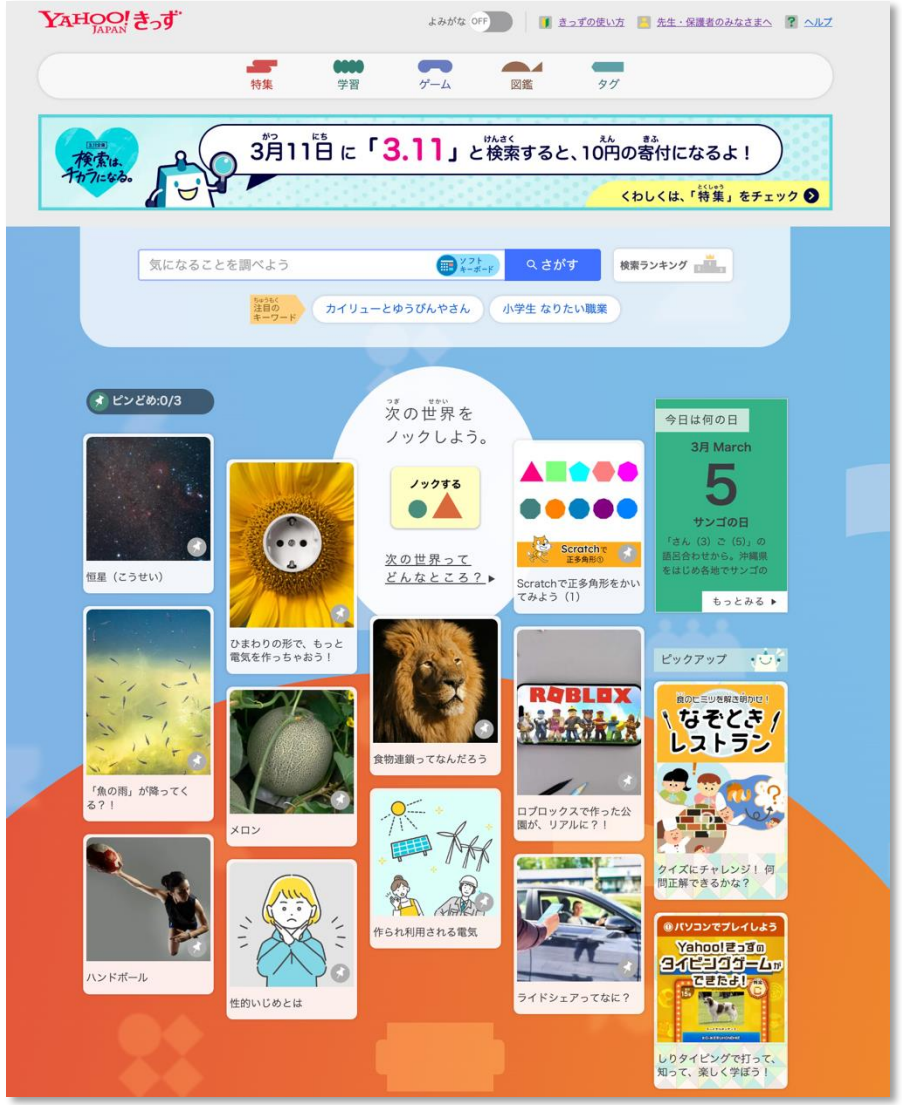
子どもたちの「知りたい」に応える

子どもたちが知りたいと思ったことを自分自身で探せるように、子どもたちにとって使いやすい検索機能を提供しています。
また、学年や教科ごとに学べる情報、季節のイベントや流行を紹介する特集など、サービス全体を通して、子どもたちが知りたいものに出合えるようなきっかけづくりも多数おこなっています。

教育現場や家庭で広く活用していただくことで、正しいインターネット利用の促進や、子どもたちの未来の可能性を大きく広げるお手伝いができることを、目指しています。

© LY Corporation

Yahoo!きっず



© LY Corporation

LY

© LY Corporation